第十講　「終助詞」／「ばや」の識別／「なむ」の識別／「呼応の副詞」

終助詞

【　　　】ばや・てしがな・にしがな／なむ／もが・もがな・がな

【　　　】かし

【　　　】そ・な

【　　　】かも・かな・か・も・な・や

★「願望」

〈　　　願望〉＝～たい

「　　　」形＋**ばや**

「　　　」形＋{てしがな／にしがな}

〈　　　願望（＝**あつらえ**）〉＝～てほしい

「　　　」形＋**なむ**

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈**状態願望**〉＝～があればなあ・～がいればなあ・～であればなあ

種々の語＋ もが／**もがな**／がな

問一　「初音の勝負をし侍らばや。」の解釈として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　この御所では初めてだが、「郭公」という曲で楽の音を競う勝負をしてはどうだろう。
イ　どちらが先に、今年初めての郭公の鳴き声を聞くか、勝負をしたいものでございます。
ウ　院御所では今春初めて、「郭公」を題とする朗詠の勝負をするとお聞きしましたが。
エ　北山殿にて、この夏初めての郭公の鳴きまね勝負をするべきではないでしょうか。
オ　誰が初めに郭公を鳴かせることができるか、勝負をするよう、お命じになってはいかがですか。

問二　「迷はざらなむ」の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

1　迷わないだろう
2　迷うはずはない
3　迷うことであろう
4　迷うことがあろうか
5　迷わないでもらいたい

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★念押し＝「　　・　　」

※「**ぞかし**」（＝〜だよ・〜だね）の形

★禁止＝〜するな

※「　　」〜**そ**（＝〜してくれるな）

問三　「もの知らぬこと［x］のたまひ［y］」が禁止を意味するように、［x］と［y］に適切なひらがなを一字ずつ書け。

x＝　　y＝

問四　次の傍線部の助詞の種類を、後の中から選べ（同じ記号を何度使ってもかまいません）。

「諸国の観音にも参詣せ ばや（a）と存ずるなり。」
両人いろいろとどむれ ども（b）、なかなか止まるべきにあらざれば、…
「ここに のみ（c）ゐたらむより、主人をあまた取りかへて仇を尋ねよ かし（d）」

ア　格助詞　　イ　接続助詞　　ウ　係助詞　　エ　副助詞　　オ　終助詞

a＝　　b＝　　c＝　　d＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「ばや」の識別

【識別対象】

1 「　　　　」の終助詞「ばや」
2 接続助詞「ば」＋係助詞「や」

〈見分け方〉

1 「　　　　」形＋ばや（　　　　）＝自己願望の終助詞「ばや」
2 「　　　　」形＋ばや（　　　　）＝接続助詞「ば」**仮定**条件＋係助詞「や」
3 「　　　　」形＋ばや＝接続助詞「ば」**確定**条件＋係助詞「や」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈例題一〉　次の傍線部の文法的説明として、最も適切なものを後の中から選べ。

①　久方の月の桂も秋はなほもみぢすればや照りまさるらむ

②　いましばしもあらばやと思へど、明くれば、ののしりて出だし立つ。

③　心あてに折らばや折らむ初霜の置きまどはせる白菊の花

ア　自己願望の終助詞
イ　順接仮定条件の接続助詞＋係助詞
ウ　順接確定条件の接続助詞＋係助詞

①＝　　　②＝　　　③＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「なむ」の識別

【識別対象】

1 「　　　」の終助詞「なむ」
2 「　　　」の助動詞「ぬ」の「　　　」形＋推量の助動詞「む」
3 ナ行変格活用動詞の未然形の活用語尾＋推量の助動詞「む」
4 「　　　」の係助詞「なむ」

〈見分け方〉＝「　　　」

1 「　　　」形＋［なむ］＝他者願望（＝あつらえ）の終助詞「なむ」
2 「　　　」形＋㋤㋰＝完了・「　　　」の助動詞「ぬ」＋推量の助動詞「む」
3 「　　な（む）」・「　　な（む）」・「　　な（む）」＝ナ変動詞未然形の活用語尾＋推量の助動詞「む」
4 1～3以外＝強意の係助詞「なむ」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　「我、人に劣りなむや」の傍線部の文法的な説明として、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　係助詞
イ　終助詞
ウ　副助詞
エ　完了の助動詞＋推量の助動詞
オ　断定の助動詞＋推量の助動詞

問六　次の傍線部イ〜ハの文法的説明として最も適切なものを、後の中からそれぞれ選べ。

「いざなん（イ）、聖のある、おそろしきに」
「日比（ごろ）、見でや止み（や）なんと（ロ）心うかりつるを、…」
「おとなになりなん（ハ）時は御門の后（きさき）にも奉り、…」

①　動詞　②　動詞の一部＋助動詞
③　助動詞　④　助動詞の一部
⑤　助動詞＋助動詞　⑥　副詞
⑦　係助詞　⑧　終助詞

イ＝　ロ＝　ハ＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問七　「君が宿にてかへらざらなむ」の現代語訳として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　あなたの所へ帰っていきたい。
イ　あなたの所へ帰っていくだろう。
ウ　あなたの所へ帰らないでいたい。
エ　あなたの家で孵化（ふか）してほしい。
オ　あなたの家で孵化するだろう。
カ　あなたの家で孵化しないでほしい。

問八　「さることはありなむや、隠いたまひてけむ」の現代語訳として最も適当と思われるものを、次の中から一つ選べ。

ア　そういうことであってほしい、お隠しになっただろうか
イ　そんなことがあるだろうか、お隠しになったのだ
ウ　そういうことであってほしい、きっとお隠しになっただろう
エ　そんなことがあるだろうか、きっとお隠しになっただろう

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★注意すべき「なむ」

○「未然形」と「連用形」が同じ形の場合→**文脈判断**

まず「　　　　」と訳してみる。

○→他者願望の終助詞

×→完了の助動詞＋推量の助動詞

※ただし、「　　　　」にあれば「完了の助動詞＋推量の助動詞」である。

○「しなむ」の場合

「し」が「　　　」と訳せる＝サ変「す」連用形→「　　　　」

「し」が「　　　」の意味→ナ変動詞未然形の活用語尾＋推量

○「連用形＋なむ」が「係助詞」である場合

連用形
～
～
～
＋ **なむ** ＝ **係助詞**

○「てなむ」＝**接続助詞**「て」＋**係助詞**「なむ」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

呼応（陳述）の副詞

★禁止

「　」～**そ**＝～するな（～してくれるな）

「　」
かまへて
あなかしこ
} ～ {
そ
な
べからず
＝決して～するな

★不可能

「　」～打消＝～できない

★その他の打消系統

「　」知ら**ず**＝さあ、どうだかわからない

「　」～「　」＝まさか～ないだろう

★全否定

「　」
「　」
「　」
「　」
おほかた
たえて
つやつや
かけて
あへて
} ～打消＝
全く～ない
全然～ない
決して～ない

★弱い否定

いと
いたく
} ～打消＝**たいして**～ない

「　」～打消＝
めったに～ない
ほとんど～ない

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問九　「花ならばしばし□散りそ木の下を」の空欄には、ひらがな一字が入る。最も適切な語を記せ。

問十　下の打ち消しの語と呼応して不可能の意味を表す副詞の言葉として、最適なものを次の中から選べ。

1　さらに　2　よも　3　な　4　え

問十一　「さらにそのほかのものも食はずありければ、…」の傍線部の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　ますます　イ　まったく　ウ　たいてい　エ　ふつうは　オ　ほとんど

問十二　「さらにえ見いでず」の語句の意味として、最も適切なものを次の中から選べ。

1　ますます見つからなくなってしまった
2　まったく見つけ出すことができなかった
3　もう世話をする気持ちも失せてしまった
4　あれ以上に良いものはもう見出せなかった

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十三　「えせぬ」の現代語訳として最も適当なものを次の中から選べ。

ア　できないことが　　イ　仕方ないが

ウ　もうけもなくて　　エ　難しそうで

問十四　「しばし、みななつかはしそ」の現代語訳として最も適当なものを次の中から選べ。

イ　しばらくの間、すべてでなくてもお与えください

ロ　しばらくの間、全部は差し上げないでおきましょう

ハ　しばらくの間、みんな送り返してしまいましょう

ニ　待ってください、すべてお与えしてはいけません

ホ　待ってください、みんな差し上げてもかまいません

ヘ　待ってください、全部お返しにならないでください

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「その他」

○ **いかで（か）**〜
- 推量＝**【疑問】**「どうして〜だろう」／**【反語】**「どうして〜だろうか、いや、〜でない」
- **願望・意志**＝「　　　　〜したい・しよう」

○ **いつしか〜願望**＝「　　　　〜　したい・してほしい」

○ かまへて〜
- 禁止＝「　　　　〜するな」
- 命令・意志＝「　　　　〜せよ・しよう」

○ はやく〜けり＝「なんと実は〜だったよ」

問十五　「いつしか梅咲かなむ」の「いつしか」の意味として適切なものを次の中から選べ。

1　いつの間にか　　2　はやく　　3　もはや　　4　いったいいつか

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十講　「終助詞」／「ばや」の識別／「なむ」の識別／「呼応の副詞」

①「人はよきほどのしまひあらばや。」の傍線部の用法としてふさわしいものを、次の中から一つ選べ。

ア　疑問を表す　　イ　意志を表す　　ウ　推量を表す　　エ　願望を表す　　オ　勧誘を表す

②「ひとことなおとし［A］」の空欄Aには、禁止の意味を表す終助詞が入る。最も適切なものを次から選べ。

ア　ばや　　イ　そ　　ウ　なむ　　エ　かし　　オ　ぞ

③「集などにも入りなむ。」の傍線部の説明として、最も適当なものを次の中から一つ選べ。

ア　係助詞　　イ　終助詞　　ウ　動詞の一部＋推量の助動詞　　エ　強意の助動詞＋推量の助動詞

④「～よきは短くてあらなん。」の二重傍線部「なん」の文法的解説として、最も適切なものを次から選べ。

ア　詠嘆の終助詞　　イ　ナ変動詞＋推量の助動詞

ウ　他者願望の終助詞　　エ　強意の係助詞

オ　強意の助動詞＋推量の助動詞

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤「良かりなむ」とあるが、その文法的説明として最も適当なものを左の中から選べ。

ア　形容詞「良し」の命令形＋終助詞「なむ」
イ　形容詞「良し」の連体形＋係助詞「なむ」
ウ　形容詞「良し」の未然形＋完了の助動詞「り」の連用形＋終助詞「なむ」
エ　形容詞「良し」の連用形＋禁止の終助詞「な」＋推量の助動詞「む」の終止形
オ　形容詞「良し」の連用形＋完了の助動詞「ぬ」の未然形＋推量の助動詞「む」の終止形

⑥「さらにえ見いでず」を現代語に訳すとどうなるか。次のア～オのうちから最適なものを一つ選べ。

ア　まったく見つけられない
イ　いまさら見つけることができようか
ウ　どうしても見つけなければならない
エ　いっそう見つけようと努力した
オ　ことさら見るのも嫌である

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十講　模範解答

〔例題一〕　①ウ　②ア　③イ

問一　イ
問二　5
問三　x な　y そ
問四　a オ　b イ　c エ　d オ
問五　エ
問六　イ⑦　ロ⑤　ハ⑤
問七　カ
問八　エ
問九　な
問十　4
問十一　イ
問十二　2
問十三　ア
問十四　へ
問十五　2

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題解答　第十講　「終助詞」／「ばや」の識別／「なむ」の識別／「呼応の副詞」

〈解説〉

① ラ変「あり」の**未然形**＋「ばや」（**文末**）＝自己**願望**の終助詞。よって、正解はエ。

② 「**禁止**」を表す終助詞で、動詞「おとす」の上に副詞「**な**」があることから、「**な～そ**」の構文。よって、正解はイ。

③ ラ行四段活用動詞の**連用形**＋なむ＝**強意**の**助動詞**＋**推量**の**助動詞**。よって、正解はエ。

④ ラ変「あり」の**未然形**＋なむ＝**他者願望の終助詞**「なむ」。よって、正解はウ。

⑤ 形容詞「良し」の**連用形**で、「良かり」なので「**か＋ラ変**」の補助活用。したがって**下に助動詞がつく**。よって、正解はオ。

⑥ 「**さらに**」が、「見いで**ず**」の「**ず**」＝打消と呼応して、「**まったく～ない**」の全否定。さらに「**え**」も「**打消**」と呼応して「**～できない**」。両方がきちんと解釈できているのはア。よって、正解はア。

〈解答〉

①エ　②イ　③エ　④ウ　⑤オ　⑥ア

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。